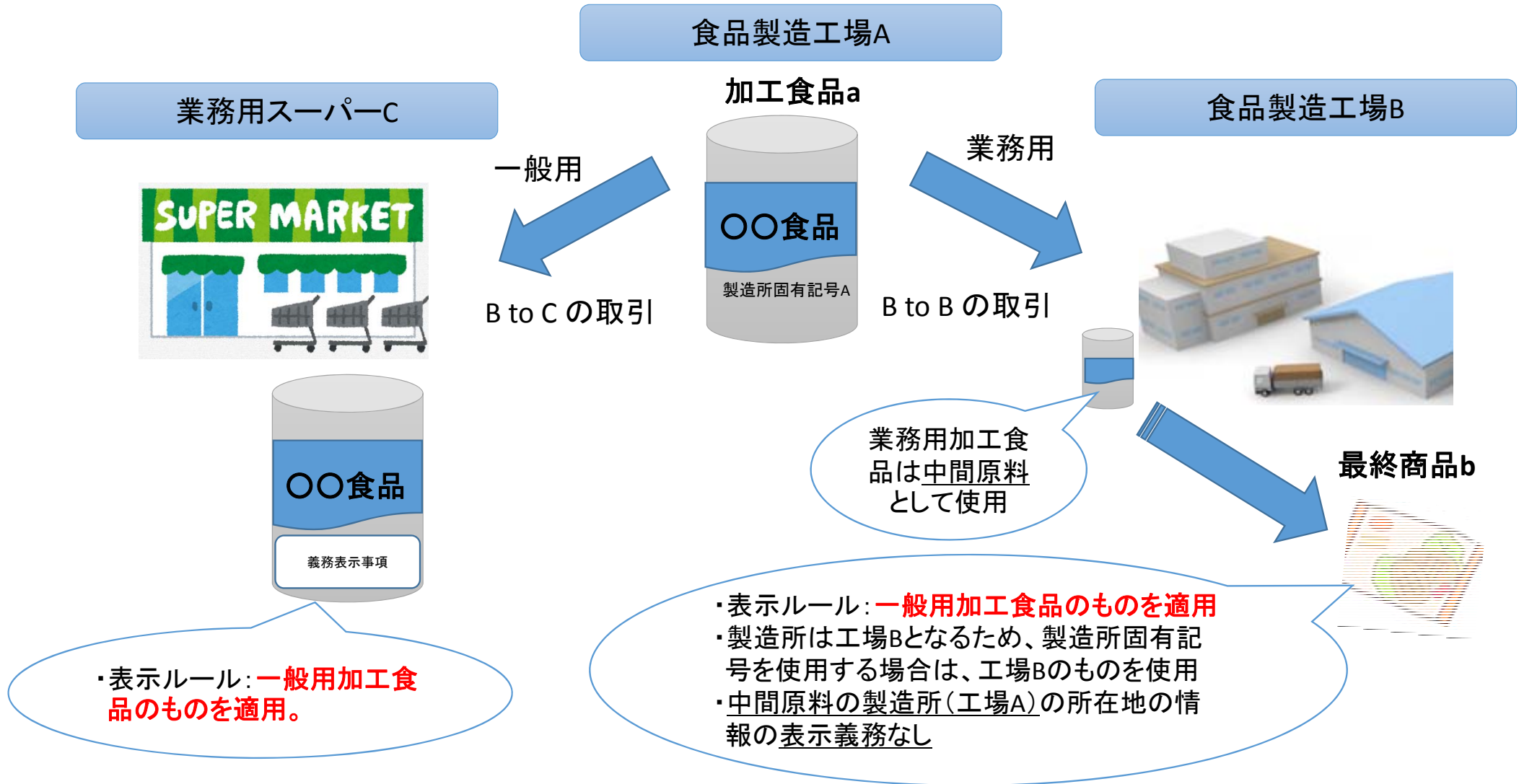


業務用加工食品の製造所固有記号の使用の実態について



紙媒体、プラスチック媒体の食品パッケージの改版作業に必要な期間の試算

包材メーカー2社の聞き取りにより、受注している食品パッケージ量から、今回の食品表示基準案の改正を踏まえて改版作業(メーカーでの企画・発注、印刷業者の製版・刷版作業)に必要な期間をシミュレーションしたところ、外注等を活用して対応しても3.5~5年程度かかるとの結果。

<A社のシミュレーション>

- ・対象版数÷製版・刷版能力=3.5~4年
- ・食品企業内での発注作業等(0.5年~1年程度)を加えると、全体として4~5年程度の期間が必要。

<B社のシミュレーション>

- ・対象版数÷製版・刷版能力=3~4.6年
- ・食品企業内での発注作業等の長くなるものの作業を優先させたとしても、食品企業内での発注作業等(0.5年~1年程度)を加えると、全体として3.5~5年程度の期間は必要。

- * いずれも通常の刷版・製版能力のみでは十分ではないため、外注等を活用して行うことを想定。
- * 発注元の食品企業からの様々な修正指示等が入れば、製版・刷版能力は低下する可能性。



ほとんどすべての食品の改版が必要となることから、少なくとも経過措置期間は5年必要。